

経営比較分析表（平成28年度決算）

栃木県 益子町

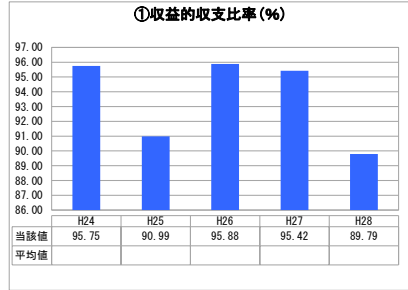
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	18.49	54.87	2,808

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,779	89.40	265.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,377	2.29	1,911.35

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



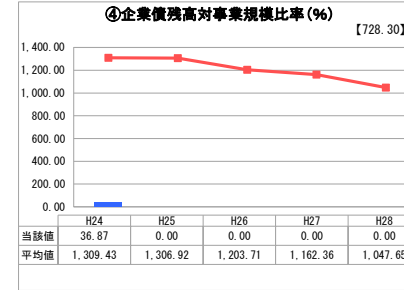
「単年度の収支」



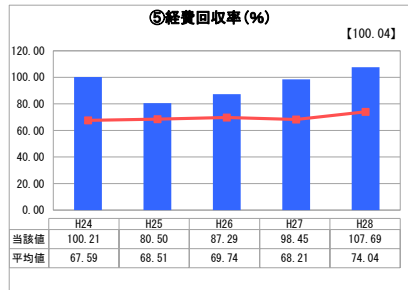
「累積欠損」



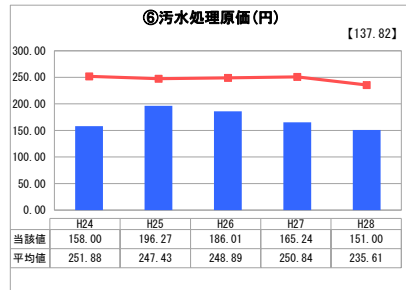
「支払能力」



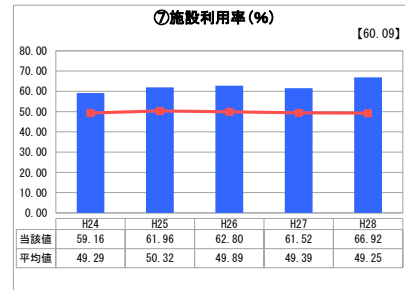
「債務残高」



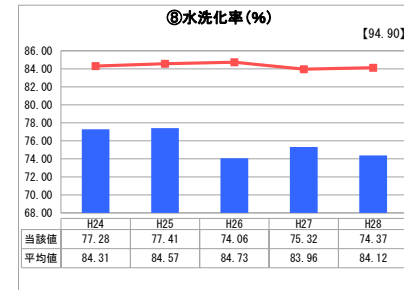
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

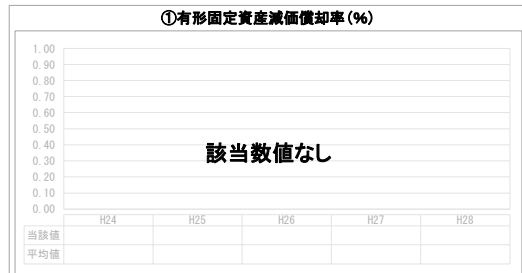


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

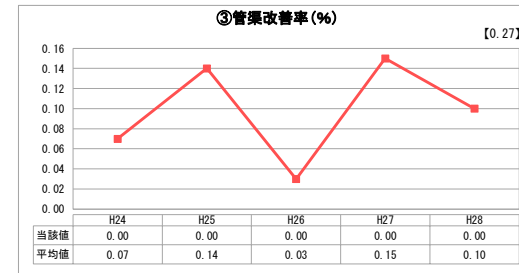
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

債務残高は平成28年度において一般会計負担額を除き0であること、汚水処理原価は類似団体平均よりも低いこと、料金水準が類似団体平均よりも高いことなどから経営の健全性は評価できるが、収益的収支比率が100%以下であり、単年度収支は赤字もすべて回収できていないことがわかる。また、施設利用率は類似団体より高いが、水洗化率が類似団体平均より低く施設の効率性の面でも類似団体に劣る。これらの背景には、処理場から離れた位置に市街地があることなどから、施設効率が悪くなっていることが考えられる。今後は、水洗化率の向上や料金水準の適正化を図り経営の健全化を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

今後、施設や管渠等の老朽化が進行していくことが想定されるため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設や機器、管渠の更新に努めていく。

全体総括

経営の健全化、施設の効率化の面では、類似団体と同程度であると評価できるが、収益的収支比率は単年度で赤字となっている。管渠施設については、これまでは改築等が必要とされてこなかったが、老朽化が懸念される施設の長寿命化に向けた機能保全の修繕や改築費用の確保のためにも、今後の経営健全化に向けた取り組みが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。